

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
異文化間コミュニケーション I Intercultural Communication I		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態		授業の性格	
2単位	講義	選択		
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
佐藤 秀一	本館 2F	火曜・水曜の11時から14時 (授業時間を除く)	授業中に指示します	
授業の概要				
英語コミュニケーションを理解する上で大切なことは、その国に住んでいる人々の生活、社会事情、歴史、あるいは文化を互いに理解し合うことで、そのことで異文化への理解が深まる。その上での相手国の人々との間のコミュニケーションに意志伝達内容を豊かなものにする。この授業では異文化における人間の心の奥底に流れる思い、考え、特に心の接点とことばの内容について考える。				
授業の到達目標				
①英語圏特にアメリカについての生活、社会事情あるいは歴史文化について知ることができるようにする。 ②自分の思い・考えを相手に伝えることができるようにする。 ③言葉の内容深く理解することができるようにする。 ④相手国、特にアメリカの異文化における価値観、行動様式を学ぶことができるようにする。				
授業の方法				
授業の進め方は、講義と演習の形式を併用して行う。毎回の授業はテキストを中心に進めていくが、時には、プリントを配布し講義を行う。また、必要な場合DVDを鑑賞し、テーマについて確認する。受講生の人数にもよるが何人かのいくつかのグループを作り、テーマに沿ってディスカッションし、自分で整理したものを英語でクラス全体の前で発表する。				
学習の成果				
この授業を履修すると、あなたは ①相手国特にアメリカに住んでいる人々の生活、社会事情、歴史、文化的価値観を理解することができる。 ②英語によるコミュニケーションがスムーズにできる。 ③英語によるpresentation能力を身に付けることができる。 ④英語力を高めることができる。 ⑤話し相手の立場になって考えることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス・概要説明			
第2回目	Unit 1 IDENTITY			
第3回目	Unit 2 VALUES			
第4回目	Unit 4 CULTURE IN LANGUAGE			
第5回目	Unit 5 BODY LANGUAGE AND CUSTOMS			
第6回目	Unit 6 INDIVIDUALISM			

第7回目	Unit 7 POLITENESS		
第8回目	Unit 8 COMMUNICATION STYLES		
第9回目	Unit 9 GENDER AND CULTURE		
第10回目	Unit 10 DIVERSITY		
第11回目	Unit 11 SOCIAL CHANGE		
第12回目	Unit 12 GLOBAL COMMUNITY		
第13回目	プリント配布 Cultural Identity, Comparing Cultures, Culture and Societyについてディスカッション		
第14回目	DVDを鑑賞し、異文化について具体的に触れる。		
第15回目	まとめと試験 (答え合わせ・解説)		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		30%	予習をして出席している。ディスカッションで積極的に意見を述べる。自分の考えをノートにまとめ理解しやすいように発表する。
レポート			
調査報告書			
小テスト			
中間・学期末試験		50%	課題をよく理解し、正確に解答している。
発表内容 (態度含む)		20%	創意にあふれ、独自の考えを明瞭に述べている。
その他			
教科書と参考図書			
教科書: IDENTITY (OXFORD)			
履修上の心得・ルール			
予習・復習をすること。授業に積極的に参加すること。食べ物や飲み物の教室への持ち込み、携帯電話の使用は禁止。			